

Vories
cure&care

病院ホームページアドレス
http://www.vories.or.jp/



ヴォーリス
だより

2016年（平成28年）12月1日 第114号

発行 毎月 1日
発行者
ヴォーリス記念病院
三ッ浪 健一
近江八幡市北之庄町492
TEL (0748) 32-5211
印刷
(有) 東呉竹堂 (ひがし印刷)

ホスピス希望館開設10周年を迎えて

ホスピス長 細井 順



ホスピス希望館が開設10周年を迎えた。計画から開設までに多くの歳月を要した希望館ではあったが、その後の10年間は皆様のお祈りやお支えによりこの地で大きな役割を担わせてもらったように思う。

去る10月23日、ホスピス希望館開設10周年記念講演会が開催された。オープニングは、希望館を舞台に制作されたドキュメンタリー映画『いのちがいちばん輝く日～あるホスピス病棟の40日～』で多大なご協力をいただいた故池本成博氏が育てた室内アンサンブル「ノアノア」による室内楽の演奏だった。続いて、希望館10年間の歩みの中から日々のホスピスケアをまとめたスライド上映が行われた。

恩師柏木哲夫先生（淀川キリスト教病院理事長）に、『ホスピス緩和ケアの原点～支えること、寄りそうこと～』と題してご講演いただいた。最後に鼎談の場を設け、柏木先生、初代ホスピス師長岡田幸子さんと筆者で語り合うときを持った。ホスピスで大切なことは、暖かさ、明るさ、広さ、静かさということが話題になり、そこで働く人たちに必要な資質としても、これらのことがあてはまるということが柏木先生から語られた。いのちのケアというテーマでは、ホスピスは人生の終わりの場であるが、終わりのない平仮名で綴られる「いのち」が生まれる場となって、その「いのち」が遺された人たちに生きていく力を与えること、希望館スタッフの力になっていることが話し合われた。

これらのプログラムは300名を超える参加者の暖かな目差しに呼応して、なごやかな空気が会場に溢れているように感じられた。このことは、筆者がヴォーリス記念病院に赴任してから15年間に積み上げられたことの総決算であるようにも思われ、感慨深く感謝を覚えた。

鼎談の中で柏木先生が我が国のホスピスで懸念されることは、「ホスピスの医学化」と語られた。がんを取り巻く医療制度の中に埋没してしまい、ホスピスの良さが失われつつあるように筆者は感じている。ホスピスが痛みなどの苦しい症状の緩和を受け持つ一診療科になり、死にゆく人たちのつらさへの対応がなおざりにされている傾向にある。

死にゆく人の自己存在のあり方に焦点を当てて、そのせつなさやかなしさ、あるいは無力を共有することがホスピスケアだと筆者は考えている。ケアは双方向性である。ケアされる人とケアにあたる人、共に限界のある人間同士の出会いから、そのふたりに通底する「いのち」に気づく。「いのち」は、生死を超えて遺る人たちに生きていく力として受けつがれていく。

ホスピス希望館は今後どのような歩みを続けていくべきなのだろうか。一言でいうなら「いのちをつなぐ」ことだと考えている。多死社会を迎えて、ホスピス利用者は、がんを患い行き場を失った高齢者の割合が増えている。働き盛りのがん死を見ていた頃とは違って来た。長寿は人生の仕舞い方をとても難しくした。他者（病院、医者）任せでは納得した終わり方はできない時代である。

「いのちをつなぐ」ための最期の場所として、希望館はますますその重要性を増していくであろう。これからも希望館を暖かく見守ってくださいますように心からお願い申し上げます。

☆インフルエンザを予防するために☆

1. 予防注射をしましょう。
2. うがい・手洗いはこまめに。
3. 外出するときは、マスクを着用しましょう。

院内感染対策委員会

今
月
の
聖
句

与えなさい。そうすれば、あなたがたにも与えられる。

新約聖書 ルカによる福音書 6章38節



チャプレン 安部 勉

アメリカのスターバックス（コーヒーショップ）のお店で一人のお客さんが自分の注文したコーヒーの他に後ろに並んでいた人の分を注文してお金を支払ったそうです。すると奢ってもらった人はまた次に並んでいた人の分を注文、支払い、この連鎖が2日間、のべ725人に繋がったそうです。

誰も後ろに並んだ人と関係はなかったでしょう。きっと私たちも自分に奢ってくれた人へのお返しとして奢ることはあるでしょう。でもそれは見返りでもありませんし、お互い納得いくことです。でもなんでも見ず知らずの人のために進んで注文して支払いまのでしたのでしょうか。直接の見返りが期待されないのに。

このように見返りが期待できなくても「与える」行為を英語で「ペイ・イット・フォワード」と言います。善意を受けたら善意を与えた人ではなく他の人へ善意を贈ること、と言っていいでしょう。

損得だけで考えれば得にはなりません。でも、他者のために「思いやる」ことが思いもかけず自分へと返ってくるものかもしれません。

私たちは「与えられる」ことの喜びがあります。また「与える」ことで得られる喜びもあります。「与えられる」ことは自分が中心です。「与える」喜びは自分の時間や労力を提供すること。でも「与える」ことは相手がいなくてはいけません。人との「関わり」の中に喜びを見出したいのです。

間もなくクリスマスを迎えます。神さまは独り子イエス様を私たちに「与えて」くださいました。神

さまは私たちに見返りを期待することはありません。ただ「喜んで受け入れて欲しい」との思いでイエス様を遣わしてくださいました。

イエス様を私たちに「与える」ということ、それは神さまが私たちに「愛している」ことです。愛は見返りを求めません。神さまの願いは私たちが愛で満たされることです。「愛されている」と実感しているならば「与える」ことも大きな喜びとなるでしょう。でも「愛してもらいたい」との思い強ければ見返りを求めるのではないのでしょうか。

愛し合うことで育まれる人と人の関係。そして自分を愛するように他者を愛する思い。その思いに世界が満たされたならば「平和」が実現することでしょう。

私たちは不完全であり他者に喜んで与えることのできない「貧しさ」があります。「与える」喜びを得るためにはまず私たちのこころが豊かになることが最優先です。大切にされているとの思いに包まれること。それがスタートです。

クリスマス、「愛されている」との思いに触れてみませんか。「与える」ことで得られる喜びは相手の笑顔、安心した表情。そして感謝の思いです。

私たちが本当に手に入れたいのは高価な贈り物ではなく、「大切にされている」という思いではないのでしょうか。

愛されている、との「思い」に皆さまが満たされますように。

在宅サービス部門だより

訪問看護ステーション

井上久美

去年の春より訪問看護ステーションヴォーリズに勤務して一年半が経ちました。

私は病院勤務がかなり長かったのですが、在宅に興味を持つエピソードがありました。ある入院患者様ですが、無表情で口数も少なかったのに退院後の初回受診の際、見たことの無い極上の笑顔をされていました。あの笑顔を見て住み慣れたやすらぎの家に帰ることの大切さを痛感しました。「住み慣れた家で、今まで通り生活出来るように」と皆が願っておられることを念頭に置いて利用者様のお宅に訪問させて頂いています。

一年半も経つのですが、いまだにどの利用者様宅に訪問するのも緊張の日々です。

看護のケアを提供させて頂く際も、本当にこれで良

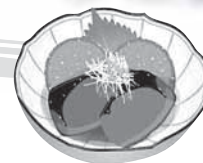
いか考えさせられます。退室の前も、再三実施したことを確認してしまいます。また、利用者様やご家族様にヴォーリズの歴史を聞くにつれ、自分もヴォーリズの一員として頑張らないと、という思いです。ここにきて月日こそ経ちましたが、まだまだ未熟でご迷惑をかけますが宜しくお願い致します。

最後に、寒くなってきましたのでインフルエンザなどに注意して、外出時はうがいや手洗いをお願い致します。また、暖房による室内の乾燥を防ぐための加湿も宜しくお願い致します。

エアコンの長時間の使用などは室内の湿度が本当に下がります。少し濡れ気味の湿った洗濯物などを室内に干して頂ければ嬉しく思います。

ヘルシークッキング 12月

ぶり大根



(材料-4人分-)

- ぶりのあら 550g
- 大根 (大) 1/2本
- みりん 100cc
- 水 450cc
- 砂糖 大さじ1杯
- 醤油 大さじ 5杯
- 生姜 少々
- 梅干 (お好みで)



(作り方)

1. 大根の皮を剥いて厚さ1.5cm位の輪切りか半月切りにし、米のとぎ汁で固めにゆでて、水で洗う。
2. アラはぶつ切りにし、熱湯をかけて霜降りにし、ただちに水に取り、血合いや汚れを洗い落とし、ザルに上げて水切りしておく。
3. 鍋に水切りしたアラと大根、スライスした生姜、水、酒を入れて落とし蓋をして火にかけ、煮立ったらアクを取り除き、砂糖、みりんを加えて5分ほど煮る。(生姜と一緒に梅干を数個加えるとより臭みが抜ける。)
4. 醤油を加えて中火で煮る。
5. 15分ほど煮てとろみが出てきたら、強火にして鍋が焦げないようにゆすりながら照りを出して火を止める。
6. 長ネギを5cm程に切って縦に包丁を入れて開き、芯を抜き、千切りにし、水にさらして水切りしたもの(白髪ネギ)を天盛りする。



ぶりはスズキ目アジ科に分類される魚です。ぶりは成長するに従って、その名称も変化することから出世魚とされています。卵から孵化後は「もじゃこ」、その後3ヶ月くらいで24~25cmになり「わかなご」、30cmを超えると「いなだ」、60cm前後になると「はまち」、90cmくらいの親魚が「ぶり」と呼ばれます。また、春の産卵期のぶりは「彼岸ぶり」とも呼ばれ不味とされていますが、冬に漁獲されるぶりは「寒ぶり」と呼ばれ、多くの脂肪がよくのり、美味とされています。

栄養面では、赤身の肉質に含まれるタンパク

質をはじめ、脂質、ビタミン、ミネラルといった多くの栄養素を含んでいます。特に冬場の「寒ぶり」は旨味成分であるヒスチジン、エキス窒素や脂肪を多く含み、古くから日本人に親しまれてきました。また、イコサペンタエン酸(IPA)やドコサヘキサエン酸(DHA)などが多く含まれており、血中コレステロール・中性脂肪の低下作用、痴呆の予防に期待されます。その他、肝機能を高めるタウリンなども含み、その栄養価は動物のレバーに近いものがあり、冬場の栄養補給に適した魚と言えます。

健康について

3病棟 住友 翼

皆さんのご家庭では白米を食べておられると思いますが、私の家では玄米を食べています。なぜ白米でなく玄米を食べているかという食生活を見直す出来事があり、以前は白米を食べていましたが、この3年間は玄米に五穀米と小豆を混ぜています。そして野菜を中心としたおかずを多く摂る食生活を心掛けています。初めの頃は抵抗がありましたが、今では玄米の美味しさを日々感じています。玄米には白米よりもビタミン、ミネラル、食物繊維を豊富に含んでおり、人間が健康を保つためにも必要とされる

栄養素を多く秘めた食べ物です。最近では、日本古来より作られてきたお味噌を自宅でも作り、普段の料理で活用しています。

皆さまもぜひ美味しいお米を通して日々の食生活について見直していただけたらと思います。



秋季追悼会に出席して

2病棟 看護師 浦谷 安美

私は看護師になって20年になります。いつの頃からか慣れと仕事の忙しさの中で看取りへのケアが業務的になってしまっている時がありました。今回、二組の御家族のお話を聞かせていただきました。入院中の御家族の思いや出来事、入院前のお元気な時の様子を聞かせていただき、病床で寝ておられる患者さんしか思い出せない私でしたが、野球好きでお孫さんの試合に一喜一憂されている様子や地域の行事のために得意な人形を一生懸命に作っておられる姿などを想像することができました。亡くなられて悲しい思いはあるのですが、なぜか心があたたかくなりました。私たちが関わらせていただくのは患者さんの長い人生の中のほんの少しの部分であるけれども、その時ができるだけ穏やかで、その方らしく過ごせるように、考えてケアをしなければならぬと改めて思う機会となりました。貴重な機会を与えて下さりありがとうございました。



初期消火競技会に参加して

ホスピス 馬場 梨奈

毎年行っている消火競技会の消火器の部で出させていたくことになり練習が始まりました。最初の練習はとにかくボロボロでした。その後も何度練習しても同じ間違いをしまい減点だらけでこのままで大丈夫なのかと自分たちでも心配してしまうほどで、あがり症の私は本番でやっつけられるのかと不安でした。しかし、みなさんのご指導のおかげでだんだんと上達していき、本番では減点もなく入賞することができました。

まさか入賞できるとは思ってもいなかったので、本当に

頑張ったよかったですと心から思いました。練習も失敗ばかりでしたが、とても楽しかったです。

貴重な体験を与えていただきありがとうございました。



個人情報保護対策委員会研修会を終えて

地域医療課 谷口 佐世子

患者様や医療機関、在宅関連機関との入院相談や、検査や受診の予約を取る病診連携等、日頃より患者様やご家族様、様々な関係機関の方と関わらせて頂く機会が多い地域医療課に入職して約半年が経ちました。

ファックス送信時の二重確認や電話番号間違え等が無い様に確認する等、関係機関と連携を取る際は、患者様やご家族様から同意を得てから行う等の心懸けは行っておりますが、個人情報あらゆる場所に存在し、良かれと思ってした事が多くの人を巻き込んでしまう事も事例によってわ

かり易く学べました。また、情報は取扱い、伝え方、伝える相手によっては漏洩になったり共有した事になったりする事も学べました。

今回の個人情報対策委員会の研修内容で、普段の業務の中で大切な情報を常に扱っているのだと言う事を再認識させて頂きました。些細な情報でもその人にとっては大切な情報であることを心に、今後の業務に携わっていきたいと思います。

報告4

職員旅行に参加して

医事課 山林 沙織

今回1泊2日での職員旅行が3部に分かれてありました。

10月25～26日の職員旅行には、病院・老健合わせて、36名の参加がありました。

目的地は京都。まずは嵐山で自由散策。まだ紅葉には少し早かったですが、竹林を散歩し珍しい豆腐ソフトクリームを発見して食べました。

その後、宿泊する“湯の花温泉 渓山閣”へ向かいました。宴会では京都3大和牛食べ比べをはじめ

とすご馳走を食べながらお酒もすすみ、カラオケも盛り上がり、わいわい楽しい時間になりました。

今回のような泊まりでの職員旅行は病院としては難しいと思いますが、こういった機会があれば日頃関わりが少ない他職種同志でも話す機会を持つことができますし、旅行の最大の目的はヴォーリズ全体の親睦を深めることだと思います。次回も機会があればぜひ参加したいと思います。

報告5

ホスピス開設10周年記念講演会を終えて

ホスピス病棟 看護師長 村上 美香

ヴォーリズ記念病院ホスピス希望館は、今年開設10周年を迎えることができました。日本では、1990年厚生省の設置基準を満たしたホスピスは「緩和ケア病棟」として、医療保険制度に基づいてケアを提供できるようになりました。そして、ヴォーリズ記念病院は、2006年院内独立型のホスピス病棟としてスタートしました。

それから10年がたち、この10月23日にはホスピス開設10周年記念講演会を開催することができました。350名の方々に来て頂くことができ改めて、たくさんの方々の支えがあってこの日を迎えられたことを実感し、感謝しております。ノアノアさんの演奏では、命のつながり、人と人とのつながりを感じながら演奏を聴かせて頂きました。「ホスピス希望館10年の歩み」のスライドでは、素敵な患者様、スタッフの笑顔から、一緒に喜びを感じながら過ごした時間にぬくもりを感じたひと時でした。柏木哲夫先生の「ホスピスの原点、～支えること、寄り添うこと～」の記念講演では、支えること、寄り添うことの意味にもどることができました。寄り添うための人間力を磨いていければと思います。

これからも皆様に支えて頂きながら、ヴォーリズ記念病院ホスピス希望館が、地域の方々に安心できる場所として提供できるよう努力していきたいと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。

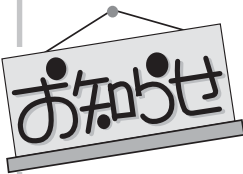


報告6

第243回 ミュージックタイム

さる2016年10月22日、「第243回 ミュージックタイム」を3病棟で開催いたしました。今回は「におの会」の皆さんのコカリナ演奏でした。優しい音色に心癒される一時を皆さんと過ごしました。



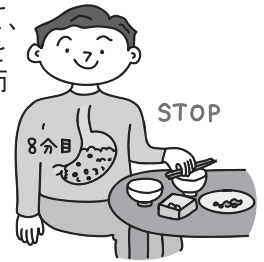


▶ 糖尿病及び生活習慣病教室のお知らせ

シリーズで月に一度、木曜日に糖尿病、生活習慣病に関して、実際の食事をご用意し、病気の知識や治療法についての教室を開きます。詳しくは管理栄養士か外来看護師あるいは担当医師にお尋ねください。

日時 12月19日(月) 12:00~13:30 場所 新館研修室(病院内)
講師 医師

主治医の指示のもとに参加できますが、あらかじめお申し込みが必要です。



近江八幡市介護予防拠点事業

ヴォーリス介護予防教室のご案内(平成28年度)

開催日程表

回	日程	内容	担当・講師
5	2月23日(木) 14:00~16:00	「おりがみ教室 PART X II」	ヴォーリス老健センター 施設長 鈴木 輝康 氏

- ①対象者 おおむね65歳以上の方 定員：30名
- ②場 所 アンドリュース記念館(旧YMCA会館)
近江八幡市為心町中31番地(近江八幡教会の隣)
- ③参加費 無料
- ④申し込み 5回目2月20日(月)までに往復ハガキで
①住所 ②氏名 ③年齢 ④連絡先電話を
記入の上、下記の係りまでお申し込み下さい。

〒523-0806 近江八幡市北之庄町492
ヴォーリス記念病院内 介護予防教室係 まで
お問い合わせは、ヴォーリス記念病院内
ホームヘルパーステーション
担当 生駒
(Tel 32-7130 Fax 36-5458) まで

患者支援センター

介護・入院・施設の入所等で、お困りのことが
ありましたら、ご連絡下さい。

TEL (0748)32-5211 (代)
FAX (0748)36-5412 (直)
E-mail info@vories.or.jp (代)

※センターは正面玄関入って左側にございます。



働く仲間を募集しています!

★看護師・訪問看護師・介護福祉士

“ケアの喜びを一緒に
感じませんか。”

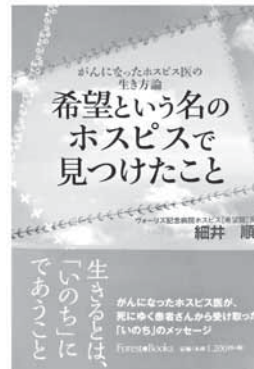


詳細はお問い合わせ下さい。TEL 0748-32-5211(担当:澤谷)

お知らせ

がんになったホスピス医の生き方論

希望という名の ホスピスで見つけたこと



ヴォーリス記念病院ホスピス[希望館]長 細井順先生の著書が出版されました。

窓口販売のみ特典!! 『先生の直筆サイン入り』

窓口販売価格 1,200円(税込)

ご購入を希望の方は、医事課受付にてお問い合わせ下さい。

メディカルフィットネスセンターヴォーリス 会員募集中

あなたの健康づくりをサポート

元気な方は体カづくり 病後の方は体カ回復
沢山の方がご利用されています。



営業日と時間

	月	火	水	木	金	土	日	利用料金
9:30~	デイ	市委託	○	デイ	市委託	—	—	入会金 3,750円
12:00	—	—	—	—	—	—	—	月会費
13:30~	○	○	デイ	○	○	—	—	週3回以上 8,208円
17:00	—	—	—	—	—	—	—	週2回 5,400円
17:30~	—	○	—	—	○	—	—	週1回 3,024円
20:00	—	—	—	—	—	—	—	

*デイ=介護保険サービス 市委託=市から受けている委託事業 ○=会員制による実費サービス

休館日 土・日・祝・年末年始など または当センターが特別に定めた日

〒523-0806 近江八幡市北ノ庄町492 ヴォーリス老健センター1階
電話 0748-32-5540 ファックス 0748-32-5541